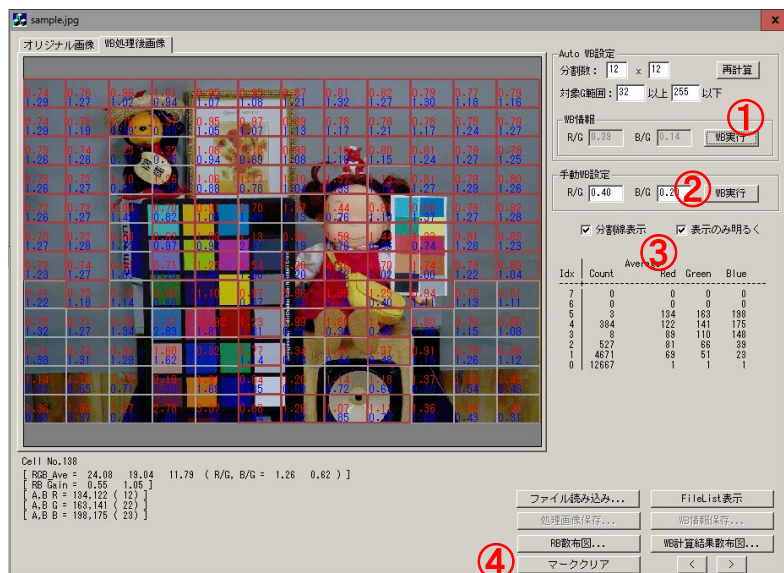


AWB_Sim簡単メモ / 2016年5月7日 かにこむ青木康雄

AWB_Sim.exeをダブルクリックして起動し、表示されたダイアログ窓にJPEG画像ファイルをマウスで掴んでdropするか、「ファイル読み込み...」ボタンを押して、読み込み画像ファイルを指定してください。正常に読み込みますと、以下のように画像を表示します。



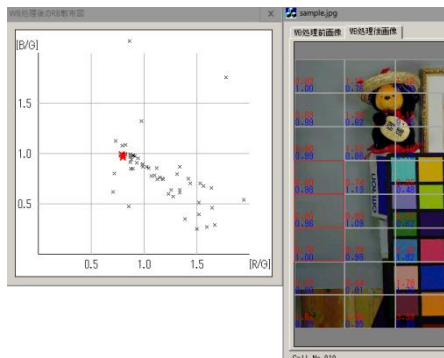
②「手動WB設定」では、感度比を数値で設定してWBを実行します。R/G、B/Gに感度比を設定し、「WB実行」ボタンを押してください。

AWB_Simでは、白レベルに対してGを基準(1.0)とした際の、R、Bの輝度比で設定します。すなわち、R/G = 0.5 とした場合：

WB処理後R輝度値 = WB処理前のR輝度値 x (1 / 0.5);

となります。

④「散布図」ボタンは、WB処理前画像と、処理後画像の感度比散布図を表示します。AWB_Simを起動すると、自動で表示されます。「マーククリア」ボタンは、WB情報取得対象となったセルの赤枠と、散布図中の赤マークをクリアします。この状態でセルをマウスで選択しますと、選択されたセルがどこに位置するのかを、散布図上に赤マークで示します。



左図に示す様子は、画像の左側のセル3個の、WB処理後の位置を観察しているところです。

画像が表示された時点で、画像の解析は終了しております。各分割セルには、そのセルの平均感度比(R/G、B/G)が表示され、また、セルの上にマウスポインタを合わせることで、詳細情報を表示します。

①「WB実行」ボタンを押すことで、現在の条件で得られたWB情報に基づき、WBを実行します。

WB情報の取得対象となったセルは赤枠で選択された状態となっております。

WB情報の取得対象判断は、当該セルのG画素の平均輝度範囲で判定しています。実際のデジカメ画質調整では、ここのアルゴリズムを外部モジュールで定義し、試行錯誤の上で開発を行います。分割数や対象G範囲を変更した場合は、「再計算」ボタンを押した後に、「WB実行」ボタンを押してください。

③「表示のみ明るく」は、WB処理する画像はガンマ補正される前のRGB画像(ガンマ1.0のままの画像)であることが多いので、そのままガンマ2.2系のモニターで表示すると暗くて視認性が悪いです。「表示のみ明るく」をチェックしますと、画像データはそのまま、見た目だけを明るくすることができます。

デジカメの画像処理設計支援や画質調整をはじめ、各種ソフトウェア、システム開発のお仕事をお待ちしております。

どうぞお気軽に、かにこむ 青木康雄 まで、お問い合わせください。

<http://www.kani.com/> master@kani.com まで、よろしくお願いいたします。